



山口まちづくり推進協議会だより
さわやか

第69号 **回覧**

令和6年12月28日発行
発行：山口まちづくり推進協議会
事務局：山口まちづくりセンター
Tel：04-2924-1224

今年の文化祭は延期になりましたが、その間、様々な催し物がありました

今年はまちづくりセンターの防水改修工事のため、時期を外せない菊花展以外は来年3月1日(土)～2日(日)に延期されます。その間、下記のように講演会などの催し物が開催されました。

- ◆10月31日(木) 第1回健康教室(共催：所沢美原総合病院・山口まちづくりセンター)(写真①)：脳神経外科主任部長 大井川秀聡氏の講演「脳卒中をやっつけろ!!」では、脳卒中の種類と治療、救急医療体制の最新状況について、また、リハビリテーション科の先生方から脳卒中の克服法、認知症予防の健康体操について学びました。
 - ◆11月1日(金)～3日(日) 菊花展(主催：山口菊愛好会)(写真②)：初心者から上級者まで大勢の愛好家が丹精込めて育てた菊を出展しました。
 - ◆11月2日(土) 環境講演会(主催：地域環境部会)(写真③)：フードバンク埼玉理事 永田信雄氏による講演「減らそう!なくそう!フードロス」。フードバンクの活動目的と具体的内容を知ることができました。
 - ◆11月3日(日) 民話講演会(主催：山口まちづくりセンター)(写真④)：海蔵寺住職・持明院副住職 木村真弘氏による「曼荼羅淵の河童のはなし」。河童伝説は子どもを事故や災難から守るための知恵かも知れません。
 - ◆11月3日(日) 狭山丘陵の民具と所沢飛白展(主催：山口民俗資料保存会・所沢飛白勉強会、協力：所沢市文化財保護課・山口まちづくり推進協議会)(写真⑤⑥)：いつもは静かな民俗資料館もこの日は大賑わい。初めての方や家族連れも多く、一昔前の地元の生活ぶりが感じられる民具や機織り体験を興味深く見入っていました。
- 上記の開催場所は、「狭山丘陵の民具と所沢飛白展」は山口民俗資料館、それ以外はまちづくりセンターです。



写真① リハビリテーション科の先生の指導で健康体操の実習も行いました。



写真② 今年は開花が遅れ気味でしたが丹精込めて育てた作品が並びました。



写真③ フードバンクは福祉と環境の両方に貢献する活動です。



写真④ 寺の縁起や所沢の昔話など幅広い話も聞かせていただきました。



写真⑤ 宮本八恵子先生が指導する機織り体験を興味深く見守る子どもたち。



写真⑥ ふわふわの綿(わた)から糸を作る糸つむぎ体験に家族で参加しました。

祝表彰 転倒した高齢者を救助した山口小4年生に感謝状

道路で転倒した高齢者を救助、日よけの傘をさして介護した山口小4年生の男子児童に対して、10月17日(木)、山口地区自治連合会及び山口地域包括センター、山口を考える会、山口まちづくり推進協議会から感謝状が授与されました。

6月に山口小の4年生を対象に実施した認知症サポーター養成講座体験学習の授業(「さわやか」67号に掲載)で学んだことを忘れずに日常生活の中で実践した小学生の素直さと優しさは素晴らしいことです。



感謝状授与の様子は校内の全クラスにネット配信されました。

子どもの主体性を育ませたい 椿峰小で「学校 de 野宿」

9月20日(金)夕方~21日(土)午前、椿峰小で160名以上の子どもたちが参加し、「学校 de 野宿」という合宿イベントが催されました。(主催:椿峰小PTA)学年縦割りで構成した班単位の共同生活を通し、子どもの主体性を育むことが目的です。保護者もサポートしますがあくまで子どもの自発的行動が優先です。

初日は暗くなった校庭での夕食、肝試しや花火、ライブや歌、翌日は紙飛行機大会などを楽しみました。



所沢名物の醤油焼きそばを食べました。



昼間とは異なる真暗な校舎内で肝試し。

子どもたちの稲刈り体験 残念ながら山口小は天候不順で中止

9月28日(土)、「菩提樹田んぼの会」が主催する「菩提樹田んぼ」では、東京都小平市のボーイスカウトの子どもたちを交え、稲刈りが行われました。子どもたちは、大人に教わりながら慣れない手つきで鎌を持ち稲刈りを体験しました。(写真左)



慣れない手つきで鎌を使いました。



稲は順調に育っていたのに残念です。

「上山口地域ふるさと創生を進める会」が主催する「上山口田んぼ」

では10月9日(水)に山口小5年生が授業の一環として稲刈りを行う予定でしたが、天候不順のため中止となりました。6月に植えた苗が順調に育ち、黄金色の首を垂れている様子を見られなかったのは残念です。(写真右)

岩崎獅子舞 起源伝承410年を迎えました

10月12日(土)、今年も瑞岩寺で岩崎獅子舞が奉納されました。(主催:岩崎獅子舞保存会)今年は起源伝承410年、節目の年になります。

今から410年前の慶長19年(1614年)に岩崎の地頭宇佐美助右衛門が大阪冬の陣から帰る途中、京都で三頭の獅子頭面(龍頭面)を購入しました。そして、獅子舞の師匠とともに岩崎に戻り、村の若者たちに稽古をさせたのが岩崎獅子舞の始まりとされています。以後、岩崎地区では悪病除け、火伏せの守りとして崇められ、代々受け継がれてきました。



次を担う子どもたちに引き継がれています。

秋の介護予防教室「山口ときめきウォーキング」

11月5日(火)、秋の介護予防教室「山口ときめきウォーキング」が行われました。(主催:山口地域包括支援センター、協力:山口を考える会)

参加者は17名、山口を考える会が最初に設置したサンキ敷地内のバス停ベンチ前に集合、軽く準備体操をした後、佛蔵院に向かいました。

佛蔵院では先ず境内を回り、狭山貯水池を造るときに勝楽寺から移設された石仏や石塔、板碑などを見学しました。その後、住職に本堂の中を案内していただくとともに佛蔵院の縁起などを聞かせていただきました。



足腰を鍛えるだけでなく、地元の歴史を学び脳も活性化されました。

地域環境部会 児泉橋付近で柳瀬川清掃

10月11日(金)、地域環境部会は児泉橋付近で柳瀬川清掃を行いました。長雨で流されたためか大きなごみはありませんでしたが、ビニール袋の小さな破片がたくさん落ちていました。最近話題になりませんが、このような小片がマイクロプラスチックとなって海に流れ出すのでしょうか。

川の清掃終了後、「ごみのポイ捨て防止」のノボリ旗を3本、児泉橋、山口城址にある自治連掲示板、サンキにあるバス停ベンチ脇に設置しました。



河川敷を歩き、ごみを拾い集めました。

秋季「もったいない市」632名が来場、730kgの衣料が再利用

10月20日(日)、まちづくりセンターで山口地区の秋季「もったいない市」が開催されました。(主催：所沢市 協力：山口地区環境推進員協議会) 来場者アンケートには多くの感謝の言葉が寄せられました。



推進員以外も含め延べ84名が活動参加。会場は大賑わい、スタッフは大忙しです。集まった食品はこれまでで最多です。

秋の「環境美化の日」一斉清掃は地域の防災や防犯にも繋がります

11月10日(日)は秋の環境美化の日、市内一斉清掃が行われました。山口地区でも各所で朝早くからご近所の皆さんが集まり、談笑しながら清掃する姿が見られました。一斉清掃は地域の防災や防犯にも繋がるそうです。



子どもたちも仲間に入り、清掃しました。毎回、斜面の草刈りはたいへんです。水路の周りのごみが無くなりました。

シリーズ(68) 行って見よう 山口の自然と歴史 もっと知ろう! 山口「勝光寺」の見所 巳待塔(みまちとう)の云われ 願う心・・・ ⑤-3

勝光寺山門入口の供養塔は一体何でしょうか? <巳待塔> (みまちとう) と云います。

己巳の日(つちのとみのひ)や己待(みまち)とは何...? 中国と日本の歴史からの伝承です。少し難しいですが解りやすく「さわやか」解説します。

五行(ごぎょう)という古代中国の思想で宇宙の万有を構成する五つの元素「木・火・土・金・水」(もく・か・ど・ごん・すい)をさらに陰と陽に分け、甲、乙~癸で表した十干(じっかん)に結び付け、10日単位の暦とします。十干と動物で表した十二支(じゅうにし)を順番に組み合わせて干支(えと)とし、年・月・日・時刻・方向(方角)などに当てて用います。干支は61番目に最初の干支に戻ります。すなわち還暦(還暦)です。甲子(きのえね)は干支の初めの日であることから吉日として願い事をする風習があります。己巳(つちのとみ)や辛巳(かのとみ)など、現在もこだわりが伝わっています。

勝光寺の供養塔には「天保六年(1835) 造立 願主 山口御水川 糟谷」とあり、供養塔には様々な願いが込められていることが解ります。上部に雲上の弁財天や宝珠像など、台座に人面蛇見像という巳(蛇)がいます。白蛇は神の使いとも云われています。観音菩薩を主尊とした「己待供養延命像」を刻まれたものがあり、地域の繁栄を願ったものと推察できます。昔この地域(山口・小手指・北野・宮寺・三ヶ島・藤沢)は、かいこの産地で織物の繁栄を願ったのではないのでしょうか。方位方向道案内など秩父・坂東・四国など行商(ぎょうしょう)人の安全、繁栄も願っていたことが解ります。(坂東とは武蔵のことです。)

他にも、埼玉県寄居町鉢形良秀寺参道にある元文二年(1737)造立の巳待塔や横浜薬王院にある享保六年(1721)造立の巳待供養地蔵などがあります。供養塔の歴史は関東・東北地方に多く見られ地域によって特徴があり、巳や己(蛇身)に天女や菩薩、左手に宝珠、右手に剣を持ち頭上に鳥居を飾る彫りもあります。

山口地区には他にも供養塔があるので、次号でご紹介します。お楽しみに!

(神藤年三氏寄稿)



勝光寺供養塔 <巳待塔>



巳待塔の上部拡大



池の古代蓮

山口地区の催し物情報・参加者募集

場合によっては中止となることがあります。詳細はお問合わせ下さい。

催し物の名称・主催	日時・場所・内容	募集内容・申込み
子育てひろば 共催：母子愛育班・更生保護女性会・山口まちづくりセンター	日時 1月8日（※第2水）、2月5日、3月5日 （原則第1水曜）、午前10時～12時 場所 山口まちづくりセンター（和室） 内容 乳児の子育て支援と交流、毎月イベントを開催します！ 1月8日：保育士さんと遊ぼう part2 2月5日：絵本とピアノのポケットシアター 3月5日：調整中	対象 乳児とその保護者 参加費 無料（イベントによって発生することがあります） 申込み 当日、自由参加 イベントは申込みが必要です。詳細は所沢市ホームページなどでご確認ください。「子育てひろば 山口まちづくりセンター」で検索。
山口子ども文庫おはなし会 共催：山口子ども文庫おはなし会・山口まちづくりセンター	日時 本の貸し出し：1月11日、18日、25日、2月1日、8日、15日、3月8日、15日、22日、29日（※第5土）（原則毎月第1週から第4週の土曜日）午前10時～12時 おはなし会：1月はお休み、2月1日、3月8日 場所 山口まちづくりセンター（学習室3号）	
地域交流会めくもい広場 主催：山口まちづくりセンター	日時 1月15日（水）、2月21日（金）、3月19日（水）午前10時～12時 場所 山口まちづくりセンター（学習室2号） 内容 交流と仲間づくり	対象 高齢者と障害のある方 申込み 当日、自由参加 参加費 100円（当日いただきます）
第78回所沢市山口地区二十歳のつどい 主催：所沢市、所沢市教育委員会、第78回山口地区二十歳のつどい実行委員会	日時 1月13日（祝月）午前10時30分～ 場所 山口まちづくりセンター（ホール）	対象 平成16年4月2日～平成17年4月1日に生まれた方
山口地区安全安心推進研修会 主催：山口まちづくり推進協議会地域安全部会	日時 3月8日（土）午前10時～ 場所 山口まちづくりセンター（ホール） 内容 検討中	申込み 未定
第66回山口地区文化祭 主催：山口地区文化祭実行委員会	日時 3月1日（土）～2日（日）午前9時30分～15時 場所 山口まちづくりセンター（館全体） 募集 ■俳句：1人5句まで 兼題「春の雪」「菫（すみれ）」「浅蜷汁（あさりじる）」 ■川柳：1人3句まで 自由題 ★だれでもなんでも展：1人1作品まで。絵画、書道、工芸、手芸など展示できるものなんでも。	締切り 俳句・川柳：令和7年1月20日（月）必着 はがきまたは投句用紙に住所・氏名・電話を記入し、同公民館 俳句、川柳係宛へ郵送、FAX可。投句用紙はセンターにも用意してあります。 だれでもなんでも展：令和7年1月31日（金）まで 電話または窓口にて問合せ 山口まちづくりセンター（TEL2924-1224）
図書館おはなし会 主催：所沢図書館椿峰分館	日時 1月11日、25日、2月8日、22日、3月8日、22日（それぞれ土曜日） 午前10時30分開場 内容 すばなし、てあそび、絵本読み聞かせ、工作など 場所 所沢図書館椿峰分館	対象 4歳以上（保護者の方も一緒に） 問合せ 椿峰分館（TEL2924-8041）
図書館親子おはなし会 主催：所沢図書館椿峰分館	日時 1月15日（水）、2月2日（日）、3月19日（水）午前11時開始 内容 てあそび、わらべうた、絵本読み聞かせ 場所 所沢図書館椿峰分館	対象 0歳から3歳まで（保護者の方も一緒に） 問合せ 椿峰分館（TEL2924-8041）

山口まちづくりセンター 第2駐車場閉鎖のお知らせ

山口まちづくりセンター第2駐車場を使用できるのは **12月28日（土）まで**です。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い致します。詳細は山口まちづくりセンター（TEL：2924-1224）までお問合わせ下さい。

編集後記

今年はいつまでも暑さが残っていたため稲刈りや彫獅子舞、菊花展にも爽やかな秋を感じることなく、12月に入って突然に冬を迎えました。このままいくと日本の四季はなくなり、夏と冬だけになってしまうかもしれません。「茹でガエル」とならないよう、私たちはこのような異常気象の原因を真摯に考え、微力であっても一人一人が元に戻す努力をしなければならぬと思います。（新居）

広報委員：新居亨一（地域環境部会）、渡辺栄一（地域振興部会）、吉永協子（地域福祉部会）、杉浦佳子（青少年育成部会）、遠藤健志（学習文化部会）、粕谷耕治（地域安全部会）



山口まちづくり推進協議会

